

- 五、稅外諸收入內譯簿モ本様式ニ準シ整理スルモノトス
- 四、調定減額ハ調定濟額欄ニ朱書スルモノトス
- 三、隨時ノ調定濟額收入濟額及人員ハ備考欄ニ複記スルモノトス
- 二、月計及累計ヲ朱記スルモノトス  
ノ如何ニ拘ラス混記スルモノトス
- 一、本簿ハ每年度調製シ賦課科目ノ順序ニ依リ目別ニ口座ヲ設ケ定期又ハ隨時徵收

備考

納 額		缺 損 額		收 未 入 濟 額		備 考
調 定 外 額	金 額	人 員	金 額	人 員	金 額	
金 額	人 員	金 額	人 員	金 額	人 員	
円 厘		円 厘		円 厘		



月日	摘要	調定濟額		收入濟額		過誤	
		金額	人員	金額	人員	調定金額	內額人員
		円	厘	円	厘	円	厘

大正何年度

市稅徵稅額內譯簿

何區役所

(第二十號)



### 特別市稅賦課條例

(明治四十一年八月二十一日) 明治四十五年四月一日ヨリ施行

改正

明治四十三年六月 告示第二〇號	明治四十三年十月 條例第七號	明治四十四年五月 條例第四號
明治四十五年三月 告示第四十六號	大正二年五月廿三日 條例第一號	大正三年四月十日 條例第五號

#### 特別市稅賦課條例

##### 第一章 總 則

第一條 特別市稅ハ國稅縣稅ニ附加スルモノヲ除ク外特ニ本市ニ於テ稅目ヲ定メ賦課スルモノトス

第二條 特別市稅ノ種類左ノ如シ

- 一 削 除
- 二 削 除
- 三 削 除
- 四 削 除
- 五 削 除
- 六 所有權移轉稅

第三條 特別市稅ハ本條例中ニ定ムル課率ノ制限内ニ於テ每年度市會ノ議決ヲ經テ之ヲ



定ム

第四條 削 除

第五條 隨時賦課ノ徵收期限ハ令狀ニ指定スル期日トス

第六條 特別市稅ノ納稅義務消滅シ又ハ變更スルモ其届出ナキ間ハ從前ノ稅ヲ賦課ス

賦課期日後納稅義務消滅シ又ハ變更スルコトアルモ賦課シタル稅額ハ之ヲ變更セズ但

納稅義務ノ繼承者ニハ其期ノ終リ迄賦課セズ

第七條 納期限前納稅義務消滅ヲ届出タルモノニ對シテハ其賦課シタル稅金ハ即時徵收

ス

第八條 削 除

第九條 特別市稅ノ逋脫ヲ發見シタルトキハ其逋脫中ニ係ル稅金ヲ一時ニ徵收ス但其稅

額ハ逋脫シタル年度ノ賦課率ニ依ル

第十條 削 除

第二章 削 除

第三章 削 除

第四章 削 除

第五章 削 除

第六章 所有權移轉稅

第五十條 所有權移轉稅ハ本市内ニ於ケル土地建物ノ所有權取得者ニ其價格千分ノ十以  
内ヲ隨時賦課ス

但家督相續及遺產相續ニ依リ所有權ヲ取得シタル者ハ此限リニアラズ

第五十一條 前條ニ依リ納稅義務ノ生シタル者ハ所有權取得ノ日ヨリ十日以内ニ其物件  
名稱所在地及價格ヲ其物件所在地ノ區長ニ届出ツヘシ

第七章 罰 則

第五十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ五圓以下ノ科料ニ處ス

一 第六章第五十一條ニ違背シタルモノ

二 虚偽ノ届出ヲ爲シタルモノ

第八章 附 則

第五十三條 削 除

第五十四條 所有權移轉稅ハ大正六年度限り廢止スルモノトス

第五十五條 削 除



### 縣稅家屋稅賦課等差規程

明治四十五年三月三十日  
告示第二十七號

改正

大正二年十二月十五日  
告示第百五十九號

大正五年三月十五日  
告示第二十四號

大正六年三月七日  
告示第三十六號

第一條 縣稅賦課規則第三十條ニ基キ家屋ノ位置及構造ニ依リ家屋稅賦課ニ等差ヲ設ク  
家屋ノ位置ハ敷地ノ地位ニ依リ左ノ通り等級及乘率ヲ定ム

地位	等級	乘率
百十四級以上	第一等	一〇、五
自百十三級至百九級	第二等	一〇、〇
自百八級至百四級	第三等	九、五
自百三級至九十九級	第四等	九、〇
自九十八級至九十四級	第五等	八、五
自九十三級至八十九級	第六等	八、〇
自八十八級至八十四級	第七等	七、五



自八十三級	第八等	七、〇
至七十九級		
自七十八級	第九等	六、五
至七十四級		
自七十三級	第十等	六、〇
至六十九級		
自六十八級	第十一等	五、五
至六十四級		
自六十三級	第十二等	五、〇
至五十九級		
自五十八級	第十三等	四、五
至五十四級		
自五十三級	第十四等	四、〇
至四十九級		
自四十八級	第十五等	三、五
至四十四級		
自四十三級	第十六等	三、〇
至三十九級		
自三十八級	第十七等	二、五
至三十四級		

自三十三級	第十八等	二、〇
至二十九級		
自二十八級	第十九等	一、五
至二十四級		
二十三級以下	第二十等	一、〇

家屋ノ構造ニ依リ左ノ通等級及乘率ヲ定ム

構造	等級	乘率
石造家屋	一等	一、二
其他家屋	二等	一、〇

第二條 敷地ノ地位ハ明治四十三年法律第三號宅地價修正法ニ依リ決定シタル宅地ノ賃貸價格ヲ標準トシテ之ヲ定ム

但愛知郡ヨリ編入セシ熱田町並ニ全郡小碓村全郡御器所村全郡千種町ヨリ編入セシ地域ハ大正六年九月三十日迄各等級ノ二等ヲ繰下ケ南區築地全區東築地ハ等級ノ末等トス

第三條 前條但書ニ依リ等級ヲ繰下ケ第二十等以下ニ下ルモノハ第二十等ニ止ム

第四條 地位ノ異ナル土地二筆以上ニ跨ル家屋ノ等級ハ其最モ高キ地位ニ依リ之ヲ定ム

第五條 地位等級ナキモノ又ハ等級ノ確定セサルモノハ隣地ノ比較ヲ取リ之ヲ定ム



第六條 家屋稅賦課等差個數算出方ハ第一ニ縣稅賦課個數種類毎ニ第一條第二項ノ乘率ヲ乘シ厘位ニ止メ第二ニ全條第三項ノ乘率ヲ乘シ厘位ニ止メ一筆内ノ個數ヲ合算シ端數ヲ切捨ツ

### 督促手數料條例

明治四十年度第四百四十六號議決  
全 四十二年四月二十三日許可

- 第一條 本市ニ於テ徵收スル使用料、手數料、市稅、夫役ニ代フル金圓共有物使用料及加入金其他市ノ收入ヲ納期内ニ完納セサルモノニ對シ督促令狀ヲ發ス
- 第二條 督促令狀ヲ發シタルトキハ一通毎ニ手數料金貳拾錢ヲ徵收ス但市外ノ納人ニ對シ使丁ヲ以テ督促令狀ヲ送達セシメタルトキハ一里毎ニ金拾錢ヲ又郵便ニ依リ之ヲ送達セシメタルトキハ其實費ヲ增手數料トシテ徵收ス
- 第三條 督促令狀ハ本人不在ノトキト雖モ同居ノ家族又ハ雇人ニ領收セシムルヲ以テ送達ノ手續ヲ了シタルモノトス
- 第四條 納人ノ住所居所不明ナルトキ又ハ本人若クハ同居ノ家族雇人ニシテ督促令狀ノ送達ヲ拒ミタルトキハ三日間揭示場ニ揭示スルヲ以テ督促令狀ヲ送達シタルモノトス
- 第五條 督促手數料ハ滯納金ト同時ニ納付スヘシ
- 第六條 督促令狀ヲ送達シタル日ヨリ五日以内ニ其滯納金並ニ督促手數料ヲ完納セサルトキハ國稅徵收法ニ依リ處分ス



### 手數料ニ關スル條例

明治三十二年九月二十二日許可  
全三十二年四月十四日條例第六  
大正三年四月十四日條例第六  
號ヲ以テ改正

第一條 本市ニ左ノ手數料ヲ徵收ス

但法令ヲ以テ直接市ニ取扱ヲ命シタルモノ及鑛山主ヨリ鑛夫ノ徵兵上ニ關スル證明  
ハ此限ニアラス

- 一、營業及職業ニ關スル證明 壹件ニ付 金貳拾錢
- 二、租稅其他公課ニ關スル證明 全 金貳拾錢
- 三、土地、建物、船車其他動產不動產ニ關スル證明 全 金貳拾錢
- 四、墓地使用證券ノ書換及再交付 全 金貳拾錢
- 五、印鑑證明 全 金拾錢
- 六、狩獵免狀下付資格證明 全 金拾錢
- 七、法人、組合ニ關スル證明 全 金拾錢
- 八、本籍、住所、居所及寄留ニ關スル證明 全 金拾錢
- 九、族稱、氏名、年齡ニ關スル證明 全 金拾錢
- 十、身分、身元ニ關スル證明 全 金拾錢
- 十一、生存、不在、失踪ニ關スル證明 全 金拾錢



- 十二、家族、親族、親權者、後見人及隣佑ニ關スル證明 全 金拾 錢
- 十三、身代限、家資分散、破産ニ關スル證明 全 金拾 錢
- 十四、在學、就學ニ關スル證明 全 金拾 錢
- 十五、兵役ニ關スル證明 全 金拾 錢
- 十六、納稅代理人ニ關スル證明 全 金拾 錢
- 十七、社寺、宗教ニ關スル證明 全 金拾 錢
- 十八、公權、能力、其他諸資格ニ關スル證明 全 金拾 錢
- 十九、褒賞ニ關スル證明 全 金拾 錢
- 二十、小學校教員檢定ニ關スル證明 全 金拾 錢
- 二十一、刑罰懲戒處分ニ關スル證明 全 金拾 錢
- 二十二、種痘ニ關スル證明 全 金拾 錢
- 二十三、里程ニ關スル證明 全 金拾 錢
- 二十四、難破船ニ關スル證明 全 金拾 錢
- 二十五、漂流物、沈沒品ニ關スル證明 全 金拾 錢
- 二十六、埋火葬ニ關スル證明 全 金拾 錢
- 二十七、公簿、公文書及圖面ニ關スル證明 全 金拾 錢
- 二十八、公簿、公文書、圖面及印鑑ノ閱覽 全 金五 錢

第二條 前條ノ件數ハ一種類毎ニ壹件トシテ算定ス

但一種類ト雖モ被證明者ヲ異ニスル場合ハ一人ヲ以テ壹件トス

公簿、公文書及圖面ノ閱覽ニ關シテハ公簿ハ壹冊、公文書ハ壹事件圖面ハ壹枚ヲ以テ壹件トス

第三條 公費ヲ以テ救助セラル、モノ及手数料ヲ納付スル資力ナシト認ムル者ハ手数料ヲ徵收セス

第四條 手数料ヲ徵收スヘキ公簿書類ノ閱覽及諸證明ハ公衆ノ閱覽ニ供シ支障ナキモノニ限ル

第五條 手数料ハ證明又ハ閱覽ノ際之ヲ徵收ス

附 則

第六條 本條例ハ明治三十二年十月一日ヨリ施行ス



### 名古屋市納付金小切手使用規程

明治三十七年度  
第三十五號議決

- 第一條 市稅及市ノ徵收スル國稅ノ納付ニ小切手ヲ使用セントスル者ハ此規程ニ依ルヘシ
- 第二條 納稅ニ使用スル小切手ハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス
- 一 納稅者自己ノ振出シナルコト
  - 二 支拂人ハ銀行營業者ニシテ名古屋交換所手形交換ニ加盟シ又ハ加盟者ニ交換ヲ委託シタルモノナルコト
  - 三 名古屋市ヲ支拂地ト定メタルコト
- 第三條 前條ノ條件ヲ具備スル小切手ト雖モ左ニ掲クルモノハ之ヲ使用スルコトヲ得ス
- 一 稅金額ニ對シ手形金額ノ過剩スルモノ
  - 二 振出シ日附ヨリ起算シ二日ヲ經過スルモノ
  - 三 納期限内ニ呈示シ得ヘキ日數三日ヲ存セサルモノ
- 第四條 此規定ニ依リ小切手ヲ使用シタル者ノ納稅義務ハ手形金額ノ支拂アリタルトキ又ハ呈示期間滿了ノ時ニ於テ完了ス
- 第五條 納稅ニ使用シタル小切手ノ支拂人ニシテ其手形金額全部又ハ一部ノ支拂ヲ拒ミタルトキハ之ニ代ルヘキ現金ヲ納付セシメ其小切手ハ納稅人ニ還付ス此場合ニ於テハ



曩ニ交付シタル領收證書ハ支拂ヲ受ケサル全部若クハ一部ニ付其効力ヲ生セズ

前項ノ場合ニ於テ納付セシムル現金ハ租稅徵收ニ關スル規定ニ依リテ之ヲ徵收ス

第六條 此規程ハ使用料其他市ノ收入ニ之ヲ準用ス

第七條 此規程ニ依ル納付ハ郵便遞送ニ付スルコトヲ得ス

附 則

第八條 此規程ハ明治三十八年四月一日ヨリ施行ス

### 縣稅徵收報告ノ件

明治四十五年三月二十九日  
訓示 第四號 區役所

縣稅徵收ニ關シ縣稅取締規則同取扱手續其他ノ規定ニ依リ知事ニ報告スヘキ事項並ニ縣  
廳ニ差出スヘキ書類ハ同時ニ其謄本ヲ當廳ニ差出スヘシ



### 家屋稅賦課等差個數報告

明治四十五年三月十四日  
訓示第二二號區役所

縣稅家屋稅賦課等差個數ニ對スル課率算出上必要ニ付其賦課期日ノ現在ヲ別紙樣式ニ依  
リ調製シ各賦課期日後五日以内ニ報告スヘシ

#### 家屋稅賦課調查書

年 月 日現在

種 別	坪 數	縣 賦 課 個 數	賦 課 等 差 個 數
第 一 種			
第 二 種			
第 三 種			
第 四 種			
計			

右 報 告 候 也

大 正 年 月 日

市 長 宛

區

長



家屋坪數及個數報告ノ件

明治四十五年六月廿八日發經第一三五號  
第一部長ヨリ區長へ依命通牒

家屋坪數及個數報告

年月末日現在

第十一類稅務	第一種	坪數	新築改	第二種	坪數	連脱ニ	第三種	坪數	廢毀及	第四種	坪數	差	所有者人員	考備
	縣賦課	新築改	縣賦課	連脱ニ	廢毀及	縣賦課	差	所有者人員						
	個數	新築改	個數	連脱ニ	廢毀及	個數	差	所有者人員						
	分	新築改	分	連脱ニ	廢毀及	分	差	所有者人員						
	合	新築改	合	連脱ニ	廢毀及	合	差	所有者人員						
	個	新築改	個	連脱ニ	廢毀及	個	差	所有者人員						
	分	新築改	分	連脱ニ	廢毀及	分	差	所有者人員						
	合	新築改	合	連脱ニ	廢毀及	合	差	所有者人員						
第一種	坪數	新築改	第二種	坪數	連脱ニ	第三種	坪數	廢毀及	第四種	坪數	差	所有者人員	考備	
縣賦課	新築改	縣賦課	連脱ニ	廢毀及	縣賦課	差	所有者人員							
個數	新築改	個數	連脱ニ	廢毀及	個數	差	所有者人員							
分	新築改	分	連脱ニ	廢毀及	分	差	所有者人員							
合	新築改	合	連脱ニ	廢毀及	合	差	所有者人員							
個	新築改	個	連脱ニ	廢毀及	個	差	所有者人員							
分	新築改	分	連脱ニ	廢毀及	分	差	所有者人員							
合	新築改	合	連脱ニ	廢毀及	合	差	所有者人員							



備 考	第二種			第三種			第四種			計合		
	個	分	合	個	分	合	個	分	合	個	分	合
新、増、改築届出件數 連、脱、件數 廢毀焼失届出件數 賣買届出件數 其他ノ届出件數												

右 及 報 告 候 也

大 正 年 月 日  
市 長 宛

區 長

### 市 稅 賦 課 徵 收 規 則

大正三年三月四日 告示第十九號

改正 大正四年三月三十一日 告示第四十四號 大正五年八月十七日 告示第八十九號

第一條 地租附加稅ハ其年七月一日及翌年一月一日ヲ賦課期日トシ同日現在ノ地租額ニ賦課率ノ半額宛テ賦課ス

第二條 第一種所得稅附加稅ハ第一種所得稅納稅義務者ニ賦課シ本稅決定ノ日ヲ以テ賦課期日トス

第三條 第三種所得稅附加稅ハ第三種所得稅納稅義務者ニ賦課シ本稅徵收期毎ニ四分ノ一ヲ徵收ス

明治四十四年九月勅令第二百四十一號第三條第二項ニ該當スルモノハ該勅令ノ定ムル所ニ依リ納稅義務發生ノ初日ヲ以テ賦課期日トス

第四條 營業稅附加稅ハ營業稅納稅義務者ニ賦課シ本稅徵收期毎ニ二分ノ一ヲ徵收ス廢業其他ニ依リ月割徵收ヲ爲ストキハ本稅決定ノ日ヲ以テ賦課期日トス

第五條 前二條ニ依ル各徵收期日ノ稅金額錢位未滿ノ端數アルトキハ錢位未滿ノ端數ニ限リ最初ノ納期ニ合算シテ之ヲ徵收ス

第五條ノ二 取引所營業稅附加稅ハ取引所營業稅納稅義務者ニ賦課ス

第六條 直接縣稅營業稅雜種稅及家屋稅附加稅ハ本稅納稅義務者ニ賦課シ之カ賦課期日



ハ本税徴収期ノ初日トス

第七條 市税ノ徴収期日左ノ如シ但隨時徴収ノモノニ在リテハ區長ノ定ムル賦課令狀ニ指定ノ期日トス

徴収期日休暇日ニ相當スルトキハ繰下トス

- 一 地 租 附 加 税 前半期七月五日ヨリ同月三十一日限  
後半期一月五日ヨリ同月三十一日限 本税徴収期限ニ同シ
- 一 第三種所得税附加税 本税徴収期限ニ同シ
- 一 營業税附加税 本税徴収期限ニ同シ
- 一 取引所營業税附加税 本税徴収期限ニ同シ
- 一 縣稅營業稅附加稅 本稅徴収期限ニ同シ
- 一 縣稅雜種稅附加稅 本稅徴収期限ニ同シ
- 一 家屋稅附加稅 本稅徴収期限ニ同シ

第十二類

財

務



ハ本税徴収期ノ初日トス

第七條 市税ノ徴収期日左ノ如シ但隨時徴収ノモノニ在リテハ區長ノ定ムル賦課令狀ニ

指定ノ期日トス

徴収期日休暇日ニ相當スルトキハ繰下トス

一 地 租 附 加 税 前半期七月五日ヨリ同月三十一日限  
後半期八月五日ヨリ同月三十一日限

一 第三種所得税附加税 本税徴収期限ニ同シ

一 營業税附加税 本税徴収期限ニ同シ

一 取引所營業税附加税 本税徴収期限ニ同シ

一 縣稅營業稅附加稅 本稅徵收期限ニ同シ

一 縣稅雜種稅附加稅 本稅徵收期限ニ同シ

一 家屋稅附加稅 本稅徵收期限ニ同シ

第十二類 財 務



收入命令取扱順序.....	一	市外債ノ証券若クハ利札滅失又ハ紛失ノ場合取扱規程.....	一三三
支拂取扱手續.....	一三	市小學校建築公債條例.....	一二七
豫備費支出並歳出豫算流用取扱順序.....	一九	市共葬墓地特別會計規則.....	一三三
區役所支拂手續.....	二一	市金庫規則.....	一三五
區役所豫算調書様式.....	三七	市金庫位置.....	一三七
區役所注文傳票様式.....	八一	市金庫派出所.....	一三九
豫算配當額ニ對シ決算報告ノ件.....	八三	市金庫事務取扱手續.....	一四一
市公債條例.....	八五	市金庫事務取扱銀行選定ノ件.....	一六七
英貨八十萬磅公債發行條件.....	八七	物品取扱順序.....	一六九
水道公債條例.....	九一	物品取扱手續.....	一七三
公債支辨事業資金管理規程.....	九七	備品貸與手續.....	一八三
市公債證書取扱規程.....	一〇一	給與基金條例.....	一八五
公債ニ關スル收支整理ノ件.....	一一七	給與基金條例施行細則.....	一八七
公債償還抽籤手續.....	一二九		

收入命令取扱順序

明治四十五年四月十一日 大正四年四月二十六日  
訓示第七號廳中一般區役所 訓示第一號ヲ以テ改正

- 第一條 市税其他諸收入ノ收入命令ハ本順序ニ依リ取扱フモノトス
- 第二條 徵稅令書ヲ發スル歳入ノ收入命令ハ第一號書式ニ依ル  
納稅告知書ヲ發スル歳入ノ收入命令ハ第二號書式ニ依ル  
徵稅令書若クハ納額告知書ヲ發セサル歳入ノ收入命令ハ第三號書式ニ依ル  
上水道ニ屬スル給水工事費、設計手數料、材料器具檢査手數料、鑑札鍵再交付手數料ノ收入命令ハ第四號書式ニ依ル
- 第三條 市役所各課係(區役所第二課)主管ニ屬スル諸收入ハ其科目金額事由納付期限納入住所氏名ヲ庶務課(區役所第一課)ニ通知スヘシ
- 第四條 庶務課(區役所第一課)ニ於テ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ收入命令ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第五條 第二條第四項ノ收入命令ハ水道課ニ於テ其手續ヲ爲スヘシ
- 第五條 雜部金ノ收入命令ハ本順序ヲ準用ス



收入命令取扱順序.....	一	市外債ノ証券若クハ利札滅失又ハ紛失ノ場合取	一二三
支拂取扱手續.....	一三	扱規程.....	一二三
豫備費支出並歳出豫算流用取扱順序.....	一九	市小學校建築公債條例.....	一二七
區役所支拂手續.....	二一	市共葬墓地特別會計規則.....	一三三
區役所豫算調書様式.....	三七	市金庫規則.....	一三五
區役所注文傳票様式.....	八一	市金庫位置.....	一三七
豫算配當額ニ對シ決算報告ノ件.....	八三	市金庫派出所.....	一三九
市公債條例.....	八五	市金庫事務取扱手續.....	一四一
英貨八十萬磅公債發行條件.....	八七	市金庫事務取扱銀行選定ノ件.....	一六七
水道公債條例.....	九一	物品取扱順序.....	一六九
公債支辨事業資金管理規程.....	九七	物品取扱手續.....	一七三
市公債證書取扱規程.....	一〇一	備品貸與手續.....	一八三
公債ニ關スル收支整理ノ件.....	一〇七	給與基金條例.....	一八五
公債償還抽籤手續.....	一一九	給與基金條例施行細則.....	一八七

收入命令取扱順序

明治四十五年四月十一日 大正四年四月二十六日  
訓示第七號廳中一般區役所 訓示第一號ヲ以テ改正

- 第一條 市税其他諸收入ノ收入命令ハ本順序ニ依リ取扱フモノトス
- 第二條 徵稅令書ヲ發スル歳入ノ收入命令ハ第一號書式ニ依ル  
納稅告知書ヲ發スル歳入ノ收入命令ハ第二號書式ニ依ル  
徵稅令書若クハ納額告知書ヲ發セサル歳入ノ收入命令ハ第三號書式ニ依ル  
上水道ニ屬スル給水工事費、設計手数料、材料器具檢査手数料、鑑札鍵再交付手数料  
ノ收入命令ハ第四號書式ニ依ル
- 第三條 市役所各課係(區役所第二課)主管ニ屬スル諸收入ハ其科目金額事由納付期限納  
入住所氏名ヲ庶務課(區役所第一課)ニ通知スヘシ
- 第四條 庶務課(區役所第一課)ニ於テ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ收入命令ノ手續ヲ爲  
スヘシ
- 第五條 雜部金ノ收入命令ハ本順序ヲ準用ス



備考

一、本簿ハ國稅縣稅及市稅ヲ各別冊ニ調製スヘシ

二、納人ノ住所氏名ハ摘要欄ニ記入シ多數ノ納人ニ係ル時ハ何ノ誰始ト記入スルモ  
ノトス

三、本簿ハ月計ヲ付シ年度末ニ於テ合計ヲ付スルモノトス

時		月令書發付日	納期限	摘要	計		主任印
隨					收入命令調定(減)額		
金額	人員	月	日		金額	人員	
円	厘				円	厘	



何稅(何年度何期何月分)										△印八朱書
隨 時	收入命令調定(減)額		令月 書發 付日	納 期 限	摘 要	合 計		主任印		
	金	人員				收入命令調定(減)額			金	人員
	円	厘				円	厘		円	厘
			月 日	月 日						

科 目	定 期		令月 書發 付日	納 期 限	摘 要
	收入命令調定(減)額				
	金	人員			
	円	厘	月 日	月 日	



(第一號)

何稅  
調收  
定入  
決命  
裁令  
簿

(區ノ分)

科 目	定 期		令月 書發 付日	納 期 限	摘 要
	收入命令調定	△減額			
	金 額	人 員	月 日	月 日	
市 稅(款)					
地 租 附 加 稅(項)					
地 租 附 加 稅(目)					
家 屋 稅 附 加 稅(項)					
家 屋 稅 附 加 稅(目)					
縣 稅 營 業 稅 附 加 稅(項)					
縣 稅 營 業 稅 附 加 稅(目)					
卸 賣 業					
何 々					
縣 稅 雜 種 稅 附 加 稅 目)					
料 理 屋					
何 々					

收 入 命 令	區 長
番 號	課 長
月 日	月 日
區 收 入 役 認 印	



(第二號)

收入命令簿  
調定決裁簿

(市ノ分)

△印ハ朱書

月日	月日	月日	月日	月日	月日	命令番號	市長助役		科目	役入收	收入命令		納期日	住所氏名	摘要
							課長	主査			調定(△減)額	令書發付月日			

備考

- 一、本簿ハ縣稅外及諸收入ノ内貸地料、堤塘道路使用料、屠場使用料、戸籍ニ關スル手數料諸證明及閱覽手數料等ニ用ヒ科目毎ニ口座ヲ設クルモノトス
- 二、多數ノ納入ニ對シ同時ニ命令ヲ發スル場合ニハ住所氏名欄ニ何ノ誰外何人ト記入スルモノトス
- 三、本簿ハ日計及月計ヲ付シ年度末ニ於テ合計ヲ付スルモノトス

(第二號)

收入命令簿  
調定決裁簿

(區ノ分)

△印ハ朱書

月日	月日	月日	月日	月日	月日	命令番號	區長		科目	區收	收入命令	令書發付月日	納期日	住所氏名	摘要
							第一課	第二課							

備考

- 一、本簿ハ縣稅外及市稅外諸收入ノ内貸地料、堤塘道路使用料、屠場使用料、戸籍ニ關スル手數料諸證明及閱覽手數料等ニ用ヒ科目毎ニ口座ヲ設クルモノトス
- 二、多數ノ納入ニ對シ同時ニ命令ヲ發スル場合ニハ住所氏名欄ニ何ノ誰外何人ト記入スルモノトス
- 三、本簿ハ日計及月計ヲ付シ年度末ニ於テ合計ヲ付スルモノトス



















豫備費支出并歳出豫算流用取扱順序

明治四十五年四月十一日  
訓示第八號廳中一般

- 一、豫算超過若クハ豫算外ノ支出及歳出豫算ノ流用ヲ要スルトキハ其金額事由ヲ詳記シ庶務課ニ送致スヘシ
- 二、庶務課ニ於テ前項ノ送致ヲ受ケタルトキハ立案決裁ヲ經テ豫備費支出又ハ豫算流用ノ命令手續ヲ爲スヘシ



### 區役所支拂手續

明治四十五年三月二十九日  
訓示第五號廳中一般 區役所

區役所ニ於ケル歳出金支拂手續並諸様式別紙ノ通相定メ明治四十五年四月一日ヨリ施行ス

#### 區役所支拂手續

- 一、歳出金ノ仕拂ヲ要スルトキハ會計主務者ニ於テ正當受領者又ハ其代理人ヨリ請求書ヲ徵シ其金額及支出ヲ要スル事由其他必要ノ事項ヲ調査シ正當ト認メタルトキ支拂命令ノ決裁ヲ受ケ區收入役ニ交付スヘシ
- 前項支拂命令ハ請求書ノ首メ上部欄外ニ之ヲ爲スヘシ
- 二、正當受領者又ハ其代理人ヲシテ請求書ヲ差出サシメ難キトキ若クハ之ヲ差出サシムル暇ナキトキハ主務者ノ支出調書ヲ以テ第一項ノ手續ヲ爲スコトヲ得
- 三、區收入役ハ仕拂案内仕拂切符ニ正當受領者ノ氏名金額仕拂場所ノ外仕拂金ノ所屬年度經濟ヲ記載スヘシ
- 四、仕拂案内仕拂切符ハ發行者ノ職印ノ外金額欄ニ收入役及其他ノ吏員一名認印スルモノトス
- 五、區收入役ニ於テ支拂切符ヲ正當受領者ニ交付スルトキハ請求書提出シアルモノハ其末尾ニ領收ノ旨與書ノ上署名捺印セシムヘシ但別ニ領收證書ヲ徵スルモ妨ナシ



- 前項領收證書ニ押捺スル印影ハ請求書ト同一ノ印影トス若シ請求書ト異ナリタル印影ナルトキハ事由ヲ詳記シタル書面ニ市區町村長ノ證明シタル印鑑ヲ添ヘ差出サシムヘシ
- 六、區收入役ハ毎月支拂報告書ヲ調製シ證書ヲ添ヘ翌月十日迄ニ之ヲ市收入役ニ提出スヘシ
- 七、市收入役ハ市金庫ノ仕拂報告書ト前項ノ支出報告書ト照査シ之ヲ市長ニ報告スヘシ
- 八、區收入役支出命令ノ執行ヲ終了セサルモノアルトキハ出納閉鎖後三日以内ニ之ヲ返付スヘシ
- 九、區長ハ歳出總計書ヲ調製シ出納閉鎖後十日以内ニ之ヲ市長ニ提出スヘシ
- 十、區長ハ歳出ノ未拂アルトキハ未拂金報告書ヲ調製シ出納閉鎖後五日以内ニ之ヲ市長ニ提出スヘシ
- 前項未拂金ノ仕拂ヲ請求スルモノアルトキハ區長之ヲ市長ニ報告スヘシ
- 十一、此手續ハ國稅縣稅等歳入歳出外現金ニ準用ス
- 十二、區長及區收入役ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ其出納ヲ登記スヘシ
- 一、支出簿
- 一、雜部金整理簿

様式目次

- 第一號 支拂命令
- 第二號 支出調書
- 第三號 旅費精算書(請求書)
- 第四號 仕拂切符發行簿
- 第五號 仕拂切符
- 第六號 支拂報告書
- 第七號 歳出總計書
- 第八號 未拂金報告書
- 第九號 支出簿
- 第十號 雜部金整理簿



(第一號)

大正 年 月 日 納品納付濟又ハ何々 第一課長 主査

請 求 書

一金

但何々

右御渡相成度請求候也

住 所

氏 名 印

年 月 日

區 長 宛

區長	本金額支拂	フヘシ	年度歳出	款	項	節	目
----	-------	-----	------	---	---	---	---

區長	本金額支拂	フヘシ	年度歳出	款	項	節	目
區長	本金額支拂	フヘシ	年度歳出	款	項	節	目

(第二號)

支 出 調 書

支 出 科 目

一 金

但何々代 何々ニ付仕拂ヲ要スル分

大正 年 月 日

職 氏 名 印



















































































觀覽稅	一人ニ付								
所有權									
移轉稅									

(第一號樣式) 用紙美濃

大正何年度區役所費歲出豫算調書 何區役所 (減ハ朱書)

豫算部	科目	項目	豫算額		増減		附記
			本年度	前年度	増	減	
區役所費		一給料					○壹人年俸金何圓
		一區長					○何人月俸平均金何圓
		一給料					
		二書料					

以下順次記載		二雜給	一旅費	二手當	○概算
					○壯丁豫備檢診醫師延 何人壹人壹日金何圓 此金何圓 ○壯丁豫備檢診看護長 延何人……

増減理由 (各種目毎ニ増減ノ理由ヲ詳記スヘシ)

- 第一項給料ニ於テ前年度令達額ニ對シ金何圓ヲ増シタルハ左ノ理由ニ依ル
  - 一、區長給料ニ於テハ何々ニ依リ金何圓増額
  - 二、書記給料ニ於テハ何々ニ依リ金何圓増額
- 第二項雜給ニ於テ前年度令達額ニ對シ金何圓ヲ減シタルハ左ノ理由ニ依ル
  - 一、旅費ニ於テハ何々ノ理由ニ依リ金何圓減額
  - 二、雇人料ニ於テハ何々ノ理由ニ依リ金何圓増額

備考 本表前年度令達額ハ増減令達額ヲ含マス  
本表附記欄ハ前年度豫算表附記ト全様ニ記載スヘシ



(第二號樣式) 用紙美濃

大正何年度區役所費歲出豫算調書附屬表

種 別	員 數	單 位	金 額	雜 給 旅 費	
				延 日	円
一金					
內 譯					
種 別	員 數	單 位	金 額		
滯納處分常時出張員		人 月 円			
吏員市内出張手當及車馬費					
吏員市外出出張旅費					
合 計					
一金					
內 譯					
徵 稅 筆 生					
延 日					
円					
雜給、雇人料臨時雇					

種 別	員 數	單 位	金 額	雜 給 寫 字 料 壯 丁 名 簿 其 他	
				延 日	円
學齡簿調製筆生	全	全			
壯丁名簿調製筆生	全	全			
衆議院議員選舉人名簿調製筆生	全	全			
縣會議員選舉人名簿調製筆生	全	全			
壯丁名簿筆耕		枚 壹枚 円			
壯丁二添付スヘキ戸籍謄抄本筆耕					
合 計					
一金					
內 譯					
宿 直 賄 料		延 日 円			
延 日					
円					
需用費賄料吏員賄料					







電 話 使 用 料	內 譯	一 金	合 計	電 燈 拾 六 燭	全 八 燭 (門 燈)	瓦 斯 點 火 料	電 燈 器 具 修 理	瓦 斯 器 具 修 理	需 用 費 電 話 費
				需 用 費 點 燈 費					

全 附 加 使 用 料	全 附 替 料	合 計	一 金	內 譯	需 用 費 消 耗 品 費	電 話 使 用 料	電 燈 器 具 修 理	瓦 斯 器 具 修 理	需 用 費 電 話 費
						需 用 費 點 燈 費			



















大正 年 月 日  
名古屋市 區 役 所  
第一課長  
第一課主任

大正 年 月 日出納簿登記

區長 本書金額ノ仕拂 ヲ命ス 仕拂命令 第 號	大正 年度歳出	經費 別	經常 臨時	款	項	種	目	附記
-------------------------------------	------------	---------	----------	---	---	---	---	----

第 號 注文傳票	受負人 名古屋市 區 町	納期日 大正 年 月 日	品 目	數量	單 價	代 價	納濟月日	使用ノ目的
計								
前書ノ物品代金正ニ領收候也								
大正 年 月 日 名古屋市 區 町 名古屋市 區 收入役 殿								

本傳票ハ物品納付ノ節其納品ト同時ニ持參シ物品取扱者ニ差出シ納濟月日ノ記入及證明ヲ受ケ  
其代金ノ請求書トシテ係員ニ差出スヘシ  
物品代價領收ノ節使用スル印鑑ヲ押捺シ置カルヘシ  
○代金領收ノ節金五圓以上ナルトキハ  
收入印紙參錢貼用消印セラルヘシ

### 豫算配當額ニ對シ決算報告ノ件

明治四十四年五月十五日  
訓示第四號區役所

豫算配當額ニ對シ其會計年度ノ終了ニケ月以内ニ決算報告ヲナスヘシ  
但決算報告書様式ハ豫算表式ニ據リ明治四十三年度ヨリ施行ス



### 名古屋市公債條例

明治四十二年五月二十五日  
條例 第一號

- 第一條 本公債ニ由ル收入ハ上水道布設費、下水道布設費、公園新設費、共同墓地新設費、新堀川改修費及商工品陳列館新築費負擔及従前ノ公債元額償還ニ充ツ
- 第二條 本公債ノ元金ハ券面金額ノ總計英貨八拾萬磅トス
- 第三條 本公債ノ利息ハ一ケ年ニ付券面金額ノ百分ノ五トス但一ケ年未滿ノ期間ニ對シテハ日割ヲ以テ之ヲ計算ス
- 本公債ノ利息ハ元金拂込ノ日ヨリ拂込金額ニ對シ之ヲ附加ス
- 第四條 本條例ノ施行ニ關シ必要ナル元金ノ受拂及之ニ附帶スル事務ハ銀行其他ノ金融機關ヲシテ之ヲ取扱ハシムルコトヲ得
- 第五條 本公債ノ募集期限ハ明治四十二年九月末日迄トス
- 第六條 本公債發行ノ價格ハ券面金額百分ノ九十以上トス
- 第七條 本公債ハ特ニ指定シタル銀行又ハ其他ノ信託業者ヲシテ其募集ヲ引受シムルモノトス
- 第八條 本公債ノ所有者ハ元金及利息ニ付水道收入、市稅及新堀川河岸地並公園内貸地收入ニ對シ辨濟ヲ受ル優先權ヲ有ス
- 第九條 本公債ノ利息ハ毎年三月、九月ノ二期ニ分チ之ヲ支拂フ



第十條 本公債ノ元金ハ明治五十年ヨリ至七十六年ニ至ル期間内ニ於テ抽籤又ハ其他ノ方法ニ依リ之ヲ辨濟ス

但市ノ都合ニ因リ右期間内ト雖モ六ヶ月前豫告シテ全部一時ニ辨濟スルコトアルヘシ

第十一條 本公債證書ノ様式ハ無記名利札附トス

附 則

第十二條 本條例ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ市長ニ於テ之ヲ定ム

第十三條 既ニ發行シタル市公債ノ償還ヲ了スル迄明治四十一年發布ノ公債條例ハ仍ホ其効力ヲ有ス

### 英貨八十萬磅公債發行條件

一、本公債證書ハ金額八十萬ポンド公債ノ一部ニ屬ス公債證書ノ種類ハ五百ポンド、百ポンド、二十ポンド、ニシテ何レモ皆支拂請求權ニ關シテハ平等ノ資格ヲ有ス

二、本證書附屬ノ利札ハ枚數六十七枚ニシテ毎半期ノ利子ヲ仕拂フモノトス但其利子ノ仕拂ハ本證書附屬ノ利札ヲ提供交付スル場合ニ限ルモノトス

三、本證書ノ元金ヲ千九百四十三年(大正二十三年)三月三十一日以前ニ償還スル場合ニ於テ元利金支拂請求ノ爲メ本證書ヲ提出スルモノハ其時以後ニ支拂フベキ利札ト共ニ提出スヘキモノトス若シ未ダ支拂期日ニ達セザル利札ニ不足アルトキハ其ニ相當スル金額ヲ所持人ニ支拂フベキ元金中ヨリ扣除スルモノトス

四、本證書及利札ノ引渡交付ヲ了シタルトキハ元利金共其支拂ノ責務ヲ了シタルモノトス

五、公債元金ハ抽籤ニ依リ左ノ期日ニ償還スルモノトス

壹萬貳千五百ポンド 千九百十七年(大正六年)三月三十一日償還

壹萬七千五百ポンド 千九百十八年(大正七年)三月三十一日償還

參萬ポンド 千九百十九年(大正八年)ヨリ千九百四十二年(大正三十一年)ニ至ル毎年三月三十一日償還



五萬ポンド

千九百四十三年(大正三十二年)三月三十一日償還

本公債償還期日以前ニ於テ本條件第八ニ依リ一部ノ償還ヲ行フトキハ其後毎年償還スヘキ金額ハ右臨時償還金額ニ準シテ其償還額ヲ減スルコトアルヘシ

六、抽籤ハ名古屋市ノ特ニ指名スル公證人ノ面前ニ於テロンドン、ラザード、ブラザース會社ニテ行フヘキモノトス

七、當籤シタル公債證書ノ番號ハ「タイムス」外一種ノロンドンニテ發行スル新聞紙ニ償還期日少クトモ一ヶ月前ニ廣告スルモノトス

右當籤シタル公債證書金額ノ支拂ハ當籤後最初ノ半期分利子ノ支拂期日ニ至リ右利子ト同時ニ支拂フモノトス依テ右期日後ハ當籤シタル公債證書ニハ利子ヲ附セサルモノトス

八、千九百十七年(大正六年)三月三十一日以後ハ何時タリトモ名古屋市ハ公債全部若クハ一部ノ償還ヲ行フコトヲ得但右ノ場合ニ於テハ本條件第七ニ定メタル方法ニ依リ少ク共六ヶ月以前ニ廣告ヲナスモノトス

尙一部償還ノ場合ニ於ケル償還スヘキ公債證券ノ種類ハ前記ノ方法ニ依リ抽籤ヲ以テ定ムルモノトス

九、本公債元利金支拂ノ準備トシテ名古屋市ハ本公債ノ償還ヲ了スル迄毎年度ノ水道收入及一搬税金ヨリ相當ノ金額ヲ積立テ尙其積立金額ニ對シテハ前ニ記載シタル他ノ收

入ニ先ンシ優先權ヲ行フヲ得ヘキモノトス

十、本證券ハ有價證券トシテ賣買讓渡ヲナシ得ヘキモノトス依テ名古屋市及本證券所有者ハ何レモ此便宜ヲ利用センコトヲ勸誘スルモノナリ

十一、本公債元利金ハ凡テロンドン、ラザードブラザース會社ニ於テ英貨ヲ以テ支拂フ但利子ニ限リ利札所持人ノ便宜ニ依リ左記ノ場所ニテロンドン換算相場ヲ以テ支拂ヲ受クルコトヲ得

和蘭玉國アムステルダム、パリーハイバ銀行(蘭貨ニテ支拂)

白耳義玉國アントワープ、セントラル、アンベルツア銀行(佛貨フランクニテ支拂)

瑞西共和國ゼネバ、ユニオン、フィナンセール(佛貨フランクニテ支拂)

十二、本證券所有者死亡シタルトキハ本證券ハ其所有者ノ國籍法ニ依リ相續人ニ所有權ヲ移スモノトス

十三、本證券ハ「ラザード、ブラザース」會社又ハ其代表者ノ副署ヲ待テ効力ヲ生ス



### 名古屋市水道公債條例

大正二年八月三十日  
條例第三號

大正五年十月七日  
條例第一號ヲ以テ改正

#### 第一章 總 則

- 第一條 本公債ニ依ル收入ハ上水道布設擴張費及下水道布設費増額ニ充ツ
- 第二條 本公債ハ券面金額百五十拾參萬圓以內(實收額百五十拾參萬圓)トス
- 第三條 本公債ノ利息ハ年率七厘以內トシ募集ノ際之ヲ定ム
- 第四條 本條例ノ施行ニ關スル事項ハ市長之ヲ定ム

#### 第二章 募 集

- 第五條 本公債ノ募集ハ大正二年度ヨリ大正六年度ニ至ル期間内資金ノ必要ニ應シ其募集額ヲ定メ之ヲ募集ス
  - 第六條 本公債發行ノ價格ハ券面金額百圓ニ付金百圓以上トス
  - 第七條 本公債ヲ募集スルトキハ其旨ヲ公告シ應募者ヲ求メ申込價格ノ高キモノヨリ之ヲ募入ス
- 但價額同等ノモノハ申込金額ニ比例シテ募入金額ヲ定ム此場合ニ於テ募入金額第六條ノ券面金額ニ適當セサルトキハ抽籤又ハ其ノ他ノ方法ニヨリ適宜募入者ヲ定ム
- 前項ノ方法ニ依ラス公共團體又ハ銀行其他ノ者ヲシテ本公債ノ全部若クハ一部ヲ引受ケシムルコトヲ得



第八條 本公債ノ應募者ニハ申込ノ際保證金ヲ納付セシム

但保證金ニ對シテハ利息ヲ附セス

保證金ハ元金拂込ノ際之ヲ元金ニ算入シ第十條第二項ノ場合ニハ之ヲ還付セス  
公共團體若クハ銀行ヲシテ公債ノ全部又ハ一部ヲ引受ケシメタルトキハ保證金ヲ徵收  
セサルコトヲ得

第九條 保證金ハ券面金額ノ百分ノ二以上トシ募集ノ際之ヲ定ム

第十條 本公債ノ元金拂込ヲ怠リタルモノハ券面金額百圓ニ付一日金參錢ノ遲滯利息ヲ  
仕拂フコトヲ要ス

應募者ニ屬スル權利ハ元金拂込期日ヨリ三十日ヲ經過スルニ因リテ消滅ス應募者拂込  
未濟ニシテ死亡シタルトキハ其引受人ニ於テ引受ノ旨ヲ届出ツヘシ

第三章 辨 濟

第十一條 本公債ノ元金及利息ハ市稅水道收入及其他ノ收入ニ依リ之ヲ辨濟ス

第十二條 本公債ノ利息ハ毎年三月及九月ノ二期ニ分チ之ヲ仕拂フ

本公債募入ノ初期ニ於ケル一期未滿ノ利息ハ日割ヲ以テ之ヲ計算ス第十四條但書ニ依  
リテ元金ヲ辨濟スル場合ハ同時ニ其元金ニ對スル利息ヲ仕拂フ

第十三條 第十五條ニ依リテ當籤又ハ辨濟ノ旨ヲ公告シタル公債ノ元金ニ對シテハ辨濟  
スヘキ期日以後ノ利息ヲ付セス

第十四條 本公債ノ元金ハ大正七年度ヨリ二十三年ニ至ル期間内ニ於テ其辨濟額ヲ定メ  
毎年三月抽籤ノ方法ヲ以テ之ヲ償還ス

但市財政運用ノ都合上据置若クハ辨濟期間中ト雖モ隨時之カ償還又ハ買入銷却ヲ爲  
シ若クハ底利債ニ借換ヲ爲スコトヲ得

第十五條 當籤シタル公債證書ノ種類記號及番號ハ之ヲ公告ス  
前條但書ニ依リ償還セントスルトキハ三十日前其期日ヲ公告ス

第四章 證 書

第十六條 本公債證書ノ様式ハ無記名利札付トシ五拾圓、百圓、五百圓、千圓及五千圓  
ノ五種トス

但應募者又ハ所有者ノ請求ニ依リ記名ニ爲スコトヲ得

第十七條 記名證書ノ賣買讓渡ヲ爲シタルモノハ双方連署ノ請求書ニ證書ヲ添ヘ記名換  
ヲ請求スヘシ

第十八條 記名證書ヲ相續シタルトキハ其相續人ハ請求書ニ戶籍謄本ヲ添ヘ記名換ノ請  
求ヲ爲スヘシ

但隱居若クハ女戶主ノ入夫婚姻ニ依リ相續シタルトキハ本文請求書ニ前戶主ノ連署  
ヲ要ス

第十九條 記名證書所有者ノ遺言ニ依リ相續ニ非スシテ證書ヲ讓受ケタルトキハ其相續



人ヲ以テ保證人ト爲シ記名換ノ請求ヲ爲スヘシ

但相續人ナキ場合ニ於テハ前所有者ノ親族二名以上ノ保證人ヲ要ス

第二十條 本公債證書ハ全額拂込ノ際之ヲ交付ス

第二十一條 本公債ノ所有者ハ其證書ノ紛失又ハ滅失ノ場合ニ其種類記號及番號ヲ附記シテ新證書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

但辨濟期日ノ確定シタル證書ハ此限リニ非ス

前項但書ハ元金辨濟ノ請求ヲ妨ケス

前二項ニ依リ新證書ノ交付又ハ元金ノ辨濟ヲ請求セントスルモノハ市長ノ適當ト認めタル保證人二名以上ノ連署ヲ以テ該證書ニ對シ除權判決アリタル證明ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ保證人ハ除權判決ノ取消アリタル場合ニ本人ト連帶シテ其損害ヲ賠償スヘキ義務ヲ負フ

但公共團體ノ請求ニ依ルモノ若クハ市長ニ於テ特ニ必要ナシト認めタル者ハ保證人ヲ要セス

第二十二條 本公債ノ所有者ハ證書ノ汚損其他正當ノ事由アル場合其種類記號及番號ヲ附記シテ新舊證書ノ交換ヲ請求スルコトヲ得

第二十三條 記名證書ニ變更ヲ受クルトキ記名證書ノ記名換ヲ受クルトキ及前二條ニ依

リ證書ノ交付若クハ交換ヲ請求スルトキハ手数料トシテ證書一通ニ付金貳拾錢ヲ徴收ス

第二十四條 本公債證書ハ元金拂渡ノ際之ヲ回收ス

第二十五條 第二十一條第二十二條及前條ハ本公債ノ利札及保證金領收證書ニ對シテ之ヲ準用ス

第二十六條 本公債證書元金拂渡ノ際現存スヘキ利札ノ枚數ニ不足アルトキハ之ニ相當スル金額ヲ拂渡金額ヨリ控除ス

前項ニ依リ控除シタル金額ハ該利札持參人又ハ該利札ニ對スル除權判決ノ申立人ニ仕拂フ

前項ノ申立人ニ仕拂フ場合ハ第二十一條第三項及第四項ヲ準用ス

參考

- 一 大正四年三月三十一日七分利附公債六拾壹萬圓（百圓券百枚、五百圓券二百枚、千圓券五百枚）發行シタルモ大正五年十二月一日六分利附公債六拾壹萬圓（五百圓券三百枚、千圓券四百六十枚）ヲ發行シ同時ニ七分利公債全部ヲ償還セリ
- 一 利札金ハ三月一日ヨリ八月末日迄分ヲ九月一日渡、九月一日ヨリ二月末日迄分ヲ三月一日渡トス



### 公債支辨事業資金管理規程

明治四十三年十一月二日  
告示第三十六號

第一條 明治四十二年條例第一號名古屋市公債條例第一條ニ定ムル費途ニ充ツヘキ總金額ハ公債支辨事業資金トシテ此規程ニ依リ管理ス

第二條 公債支辨事業資金ハ市長ニ於テ確實ト認ムル銀行ヲシテ担保ヲ提供セシメ之ヲ預金ス

但日本銀行ニ預金スル場合ハ無擔保トス

第三條 公債支辨事業資金ノ預金ハ定期及當座ノ二種トス

當座預金ノ最高額ハ當該年度ニ於ケル本市公債費豫算ニ計上シタル事業費歳出豫算百分ノ二十以內トス

但三ヶ月間内ニ支拂ヲ要スル額カ本項ノ制限ヲ超ユル場合ハ此限ニアラス

第四條 公債支辨事業資金ノ預金利率ハ定期ニ在リテハ年四厘以上トシ當座ニ在リテハ市長ノ定ムル所ニ依ル

第五條 公債支辨事業資金ノ預金擔保ハ左ノ有價證券ニ限ルモノトス

一 國債證券

一 地方債證券

一 株式會社日本銀行株券



- 一 株式會社橫濱正金銀行株券
- 一 株式會社日本勸業銀行債券
- 一 株式會社日本勸業銀行株券
- 一 株式會社日本興業銀行株券
- 一 株式會社臺灣銀行株券
- 一 富士瓦斯紡績株式會社株券
- 一 株式會社臺灣銀行債券
- 一 株式會社尾三農工銀行株券
- 一 南滿洲鐵道株式會社株券
- 一 株式會社北海道拓殖銀行株券
- 一 日本郵船株式會社株券
- 一 鐘淵紡績株式會社株券
- 一 東洋紡績株式會社株券
- 一 名古屋電燈株式會社株券
- 一 名古屋電氣鐵道株式會社株券
- 一 名古屋瓦斯株式會社株券
- 一 株式會社日本製鋼所擔保附社債券

一 株式會社尾三農工銀行社債券

前項有價證券價格ノ算定ハ國債證券及地方債證券ハ時價百分ノ九十以內日本銀行株券橫濱正金銀行株券日本勸業銀行株券同債券日本興業銀行株券臺灣銀行株券同債券ハ時價百分ノ八十以內其他ノ有價證券ハ時價百分ノ七十以內ニシテ且拂込金額ニ對シ最近三ヶ年間平均配當率ヲ七朱ノ標準トシテ換算シタル價格以內ニ於テ市長ノ定ムル所ニ依ル擔保物件ハ其算定價格カ預金高ニ達スル迄之ヲ提供セシム増擔保ノ時亦同シ

第六條 公債支辨事業資金ノ預金ニ對スル擔保物件ハ日本銀行ニ保護預トシ其預リ證書ヲ保管スヘシ

第七條 市長ハ市會ノ議決ヲ經テ定期預金ヲ國債證券ニ代フルコトヲ得但保管方法ハ前條ヲ適用ス

第八條 國債證券ノ買入レ又ハ賣却ハ市會ノ認定ヲ得テ隨意契約ヲ以テ市長之ヲ爲ス

前項ニヨリ生シタル差益並差損ハ公債支辨事業資金ニ編入シ又ハ扣除ス

第九條 公債支辨事業資金ヨリ生スル收益(利子)ハ支出ヲ要スルニ至ル迄ハ元資金ト同様之ヲ保管スヘシ

第十條 公債支辨事業資金及前條收益ノ收支並管理ノ狀況ハ毎年度市豫算提出ノ際之ヲ市會ニ報告ス



### 名古屋市公債證書取扱規程

明治四十四年六月三日  
告示第二十四號

第一條 公債證書ヲ發行スルトキハ第一號様式ノ公債證書發行簿ニ其證書ノ額面及記號番號發行價格並發行年月日ヲ記入シ證書ト割印スヘシ

記名證書ヲ發行スルトキハ前項ノ手續ヲ了シ證書面並各利札ニ記名ノ二字ヲ記入シ更ニ第二號様式ノ公債證書記名簿ニ其額面記號番號及所有者ノ住所氏名ヲ記入シ證書ニ添付ノ記名紙ト割印スヘシ

第二條 公債證書ノ交付ハ拂込金ト引替ニ爲スヘシ  
但假證書若クハ募入金拂込濟領收證ヲ交付シアル場合ハ其假證書若クハ募入金拂込濟領收證ト引替ニ之ヲ交付スヘシ

第三條 記名證書ヲ交證セムトスルトキハ其受取人ヲシテ市町村長ノ証明シタル印鑑ニ葉ヲ差出サシムヘシ記名證書ノ所有者改印シタルトキ若クハ記名證書ヲ讓受シタルモノアルトキ又ハ記名證書所有ノ法人其他銀行會社等ニシテ特ニ公債元利金ノ受取人ヲ定メタルトキ亦同シ

前項印鑑壹通ハ市役所ニ壹通ハ元利金支拂場所ニ供ヘ照合ニ供スヘシ

第四條 公債證書記名ノ變換若クハ無記名證書ヲ記名ニ記名證書ヲ無記名ニ變換ノ請求ヲ受ケタルキハ請求者ヲシテ手数料(條例第二十四條ニヨリ金貳拾錢)ヲ納付セシメタル後變換ノ手續ヲナ



スヘシ

前項ノ場合直ニ變換ノ手續ヲ了スルコト能ハサルトキハ公債證書ノ差出人ニ預リ證書ヲ交付シ置キ變換濟ノ上之ト引替ニ本證書ヲ交付スヘシ

第五條 公債證書若クハ利札紛失ノ届書ヲ受ケタルトキハ條例第二十二條第三項ノ事項ヲ調査シ第三號様式亡失書留簿ニ其證書若クハ利札ノ番號金額及所有者ノ住所氏名ヲ登記シ直ニ本市所定ノ公告式ニ依リ公告ノ手續ヲ爲スヘシ其發見ノ届出アリタルトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ公債證書發行簿、公債證書記名簿ニ其事由及除權判決月日ヲ附記スヘシ

第六條 公債證書又ハ利札ノ紛失滅失若クハ汚損等ニ依リ代證書又ハ代利札ヲ發行スルトキハ左ノ手續ニ依ルヘシ

一、代證書ハ第一條ノ手續ヲ爲シ其發行簿記名簿ノ事故欄ニ發行ヲ要シタル事由及紛失滅失汚損等ニ依ル舊證書ノ額面種類記號番號等ヲ摘記シ舊證書發行簿記名簿ニ其代證書ヲ發行シタル年月日事由、額面記號番號等ヲ摘記×形ニ朱線ヲ附シ抹消スヘシ

二、代利札ハ第四號様式ニ依リ之ヲ調製シ第五號様式ノ代利札發行簿ニ所屬ノ證書ノ額面記號番號利子金額仕拂月發行月日債主ノ住所氏名等ヲ記入割印シ其代利札ヲ發

行シタル事由發行月日ヲ公債證書發行簿公債證書記名簿事故欄ニ附記スヘシ

第七條 代證書若クハ代利札ハ其請求者ヲシテ手数料ヲ納付セシメタル後之ヲ交付スヘシ

前項證書及利札ノ交附ヲナストキハ其證書及利札ノ領收證書ヲ徴スヘシ

第八條 代證書若クハ代利札ヲ交付シタルトキハ直ニ其紛失滅失汚損等ニ係ル舊證書若クハ利札ノ無効ヲ公告スヘシ

第九條 第四條、第七條ニ依リ請求者ヲシテ納付セシムル手数料ハ市税外諸收入收納ノ規定ニ依ルヘシ

第十條 發行未濟ニ係ル公債證書ノ原紙ハ鎖鑰アル筐ニ收メ置キ第六號様式ノ原紙出納簿ニ公債證書原紙種別ニ其出納ヲ登記スヘシ

第十一條 元金償還利子仕拂濟及條例第十四條但書ノ範圍ニ於テ豫定償還外買入銷却ヲ爲シ若クハ公債證書變換紛失滅失汚損等ニ依リ代證書又ハ代利札ヲ交付シタル爲メ無効トナリタル證書利札ハ其表面金額ノ中央ニ消印ヲ捺シ十ヶ年間之ヲ保存スヘシ  
前項ニ依リ保存期間ヲ經過シタルトキハ第十條ノ例ニ依リ出納簿ニ其出納ヲ登記シタル後之ヲ燒棄スヘシ

第十二條 公債元利金ハ公債元利金拂渡所ニ現金前渡ヲナシ其仕拂ヲ執行セシムヘシ  
前項公債元利金拂渡所ハ市税取扱所ヲ以テ之ニ充ツルモノトス



第十三條 公債元利金拂渡所ハ第七號様式ノ公債元利金受拂簿ヲ備ヘ其出納ヲ登記シ毎日其仕拂額ヲ證書利札並其領收證ヲ添ヘ會計課ヘ報告スヘシ  
會計課ニ於テ前項報告ヲ受ケタルトキハ公債證書發行簿、代利札發行簿、公債證書記名簿等ヘ元金償還利金仕拂濟ノ證印ヲ押捺スルモノトス

第十四條 左ニ掲クル事項ハ會計課ヨリ其都度拂渡所ニ通知スヘシ

- 一、前渡スヘキ公債元利金ノ區別及其仕拂期月
  - 二、記名證書ヲ交付シ及記名變換シタルトキ
  - 三、公債證書及利札紛失又ハ滅失ノ爲メ其元利金ノ仕拂ヲ停止及停止解除シタルトキ
  - 四、代證書ヲ交付シタルニ依リ無効ニ販シタル證書及利札アリタルトキ
  - 五、公債證書ノ當籤若クハ滿期償還又ハ買入鎖却シタルトキ
  - 六、營利ヲ目的トセサル法人ノ取得シタル無記名公債證書ニ對シ所得稅施行規則ニ依リ證明ヲ與ヘタルトキ
  - 七、當籤又ハ滿期ノ公債證書ニ對スル元利金ノ拂渡期月ヲ定メタルトキ
- 前項第二號乃至第五號ノ場合ハ證書ノ種類記號番號第二號第六號ノ場合ニ於テハ尙所有者ノ法人名等ヲ附記スルヲ要ス

第十五條 拂渡所ニ於テ元利金仕拂ノ請求ヲ受タルトキハ左ニ掲クル事項ヲ調査シ正當ト認メタルトキ其仕拂ヲ爲スヘシ

元利金ノ場合

- 一、證書ノ眞否
  - 二、附着利札ノ員數及其眞否
  - 三、無効又ハ紛失又ハ滅失ノ届出ニ係ルモノニ非ラサルヤ否ヤ
- 利金ノミノ場合

- 一、利札ノ眞否
  - 二、無効又ハ紛失又ハ滅失届出ニ係ル利札ニ非ラサルヤ否ヤ
  - 三、當籤等ニ依リ無効ニ販シタル證書ニ附着セル利札ニ非ラサルヤ否ヤ
- 前項元利金ハ第八號様式利金ハ第九號様式ノ請求票ヲ證書又ハ利札ト共ニ差出サシムヘシ

記名證書ナルトキハ前項請求票ニ豫テ提出シタル印鑑ヲ押捺セシムルモノトス

第十六條 拂渡所ニ於テ公債利子ノ仕拂ヲ爲ストキハ所得稅法第四條第四十二條ニ依リ公債利子ニ課セラレタル所得納稅金ヲ控除シ仕拂ヲ爲スヘシ

前項控除セシ所得稅ハ之ヲ會計課ヘ返送スヘシ其金額ハ金庫ヘ納入ノ手續ヲナスモノトス

公債利子受取人ニ於テ利札截斷ノ際誤テ其利札ノ要部ヲ切斷シタルモノアルトキハ其切斷殘部ヲ接續ノ箇所裏面ニ本人ヲシテ押印セシムルモノトス



第十七條 拂渡所ハ現金仕拂濟ノ證書及利札ノ裏面ニ仕拂濟ノ印ヲ捺スヘシ  
 第十八條 拂渡所ニ於テ公債元利金ノ仕拂ヲ爲サムトスルトキ其證書若クハ利札ガ紛失  
 滅失ノ届出ニ係ルモノナルトキ又ハ汚損等ニ依リ眞否ヲ鑑別シ難キモノニ對シ元利金  
 ノ仕拂ヲ停止シタルトキハ其額面種類ノ記號番號所持人ノ住所氏名ヲ即時會計課ヘ報  
 告スヘシ

第十九條 會計課ハ公債證書ノ利子仕拂期日ニ至リタルトキ又ハ當籤若クハ買入銷却ヲ  
 爲シタルモノ、元利金等ヲ第十號公債元利金整理簿ニ登記シ常ニ元利金現在債務額ヲ  
 明瞭ナラシメ置クヘシ

第二十條 公債元利仕拂濟ニ係ル證書利札及領收證書ハ左ノ區別ニ依リ調理スヘシ

- 一、證書ハ記名無記名ニ大別シ尙之ヲ書面毎ニ類別シ番號順次ニ取纏メ帶封シ其帶  
 紙ニ證書額面ノ合金額及枚數ヲ掲記シ取扱者之ニ捺印スヘシ
- 二、利札ハ記名無記名ニ大別シ尙之ニ利子仕拂期及額面毎ニ類別シ番號ノ順次ニ取  
 纏メ帶封ヲナシ其帶紙ニ利札ノ合金額及枚數ヲ掲記シ取扱者捺印スヘシ但元金償  
 還ニ付着スル利札ハ其備證書ト共ニ整理スルモノトス
- 三、利金請求證書ハ利金支拂期毎ニ別冊ニ編纂シ利札額面金額所得納稅扣除額利金  
 拂渡額枚數ヲ表記シ取扱者捺印スヘシ

故 事 分 區 拂 仕 子 利

分 區		拂 仕		子 利	
名古屋市役所		公債證書發行簿		昭和六年四月十六日 昭和六年三月十四日 昭和六年二月十二日 昭和六年一月十日 昭和五年十二月八日 昭和五年十一月六日 昭和五年十月四日 昭和五年九月二日 昭和五年八月一日 昭和五年七月一日 昭和五年六月一日 昭和五年五月一日 昭和五年四月一日 昭和五年三月一日 昭和五年二月一日 昭和五年一月一日	
名古屋市公債證書發行簿		附		昭和六年四月十六日 昭和六年三月十四日 昭和六年二月十二日 昭和六年一月十日 昭和五年十二月八日 昭和五年十一月六日 昭和五年十月四日 昭和五年九月二日 昭和五年八月一日 昭和五年七月一日 昭和五年六月一日 昭和五年五月一日 昭和五年四月一日 昭和五年三月一日 昭和五年二月一日 昭和五年一月一日	

(第一號樣式)







(第四號樣式)

第 號	債 主
所屬公債證書種類 記號番號	無記名何圓券 何號何番
一金何程	
但明治 年 月 渡利子	
右名古屋市小學校建築公債條例第二十二條ニ依リ發行ス 市 長	
年 月 日	
札利代債公市屋古名	

發行番號	代利札金額	發行年月日	所屬公債證書種類	債主	住所
第	金	發行年月日	所屬公債證書種類	債主	住所
利子所屬	利子所屬	利子所屬	利子所屬	利子所屬	利子所屬
明治	明治	明治	明治	明治	明治
年	年	年	年	年	年
月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日
代利札發行簿 名古屋市役所					

(第五號樣式)



「何々」種類名		年月日	摘要	受	拂	残	備考
公債證券原紙出納簿							
名古屋市役所							

(第六號様式)

(第七號様式) 元利金受拂簿

年月日	摘要	受	拂	残
		円	円	円



(第八號樣式)

明治四十年 月 渡 無記名名古屋市公債元金請求票

受取人 住所 氏名	公債額面高金					
	利札額面高金					
	所得稅控除高金					
	差引元利金仕拂高金					
證 書 種 類	種	枚	數	元利小計金額	利札壹枚ノ金額	利札面小計金額
	千圓券					
	五百圓券					
	百圓券					

所得稅ハ利札面金額千分ノ二十(壹圓ニ付貳錢ノ割 厘位ハ切捨)

(第九號樣式)

明治四十年 月 渡 無記名名古屋市公債利金請求票

受取人 住所 氏名	利札額面高金				
	所得稅控除高金				
	差引利金受領高金				
	利種類	枚	數	利札壹枚ノ金額	利札面小計金額
利種類	千圓券				
	五百圓券				
	百圓券				

所得稅ハ利札面金額千分ノ二十(壹圓ニ付貳錢ノ割 厘位ハ切捨)







### 名古屋市公債償還抽籤手續

大正五年二月十四日  
達 第六號

第一條 市公債償還ノ爲メ抽籤ヲ爲サントスルトキハ此手續ニ依ルヘシ

第二條 抽籤ヲ爲サントスルトキハ其抽籤ヲ執行スヘキ場所及日時償還スヘキ公債名稱金額其他必要ノ事項ヲ抽籤ノ日ヨリ少クモ五日前ニ公告スヘシ

第三條 抽籤ニハ第一號様式ノ籤札及籤札臺帳ヲ作製スヘシ

籤札ハ一枚千圓トシ額面種類記號番號ヲ記載スヘシ

籤札臺帳ハ公債種別毎ニ別冊トシ額面別ニ口坐ヲ設クルモノトス

第四條 籤札及籤札臺帳ハ代証書交付若クハ買入銷却等ノ爲メ異動ヲ生シタル場合ハ其部分ヲ改訂シ最終迄連續使用スルモノトス

第五條 抽籤ハ市長ノ面前ニ於テ立會人二名以上立會ノ上執行スヘシ

抽籤ヲ爲サントスルトキハ先籤札ヲ抽籤函ニ入レ充分混同シ然ル後償還金額ニ達スル迄抽籤入ヲシテ一枚ツ、取出サシメ取出ノ都度其額面金額及記號番號ヲ朗讀セシムベシ

前項ニ依リ當籤シタル額面金額及記號番號ハ其朗讀ノ時々籤札臺帳ニ對照シ臺帳相當欄ニ「年月日當籤」ノ印ヲ捺スヘシ

立會人及抽籤人ハ償還事務ニ關係ナキ市吏員中ヨリ之ヲ命ス



第六條 抽籤ヲ終リタルトキハ第三號様式ノ抽籤調書ヲ作り主管課長及立會人署名捺印スヘシ

第七條 當籤ノ籤札ニハ當籤年月日ヲ記入シ包裝ノ上其公債種別額面金額及枚數抽籤年月日ヲ表記シ取扱者捺印ノ上一ケ年間保存スヘシ  
殘札ハ抽籤ヲ終ルト同時ニ一定ノ容器ニ格納保管スヘシ

第一號様式

(二寸)

年月日發行
名古屋何々公債籤札
額面何圓券記號 <small>自何番至何番</small> 何枚
年月日當籤

(印出)

第二號様式

年月日發行  
名古屋市何々公債籤札臺帳

何圓券  
當籤年月日 記號番號 備考

第三號様式

抽籤調書

名古屋市何々公債償還ノ爲メ年月日名古屋市長氏名ノ面前ニ於テ抽籤ヲ執行セリ其詳細左ノ通

- 一抽籤場所 何所
- 二抽籤開始年月日 終了年月日時
- 三抽籤人 職氏名
- 四當籤公債証書ノ額面及記號番號
- 何圓券 何枚記號番號列記
- 何圓券 何枚記號番號列記
- 右ノ通ニ候也

主管課長 記 名調印  
立會人 記 名調印



### 外債ノ證券若クハ利札滅失又ハ紛失ノ 場合取扱規程

大正四年五月十日  
告示第五十六號

第一條 名古屋市外債ノ證券若クハ利札ヲ滅失又ハ紛失シタル者ハ其證券又ハ利札ノ持  
參人ガ償還又ハ仕拂ヲ受ケタル場合ニハ其金額及其仕拂ノ日以後ノ利子ヲ辨償スヘキ  
旨ヲ約シテ擔保ヲ提供シ其元金ノ償還又ハ利子ノ仕拂ヲ請求スルコトヲ得但取扱會社  
ノ確實ト認メタル保證人ヲ立テ擔保ノ提供ニ代フルコトヲ得  
前項ニ依リ請求スル元金又ハ利子ハ償還若クハ仕拂期ノ到達シタルモノナルコトヲ要  
ス辨償スヘキ利子割合ハ一箇年百分ノ五トス  
擔保ノ提供ヲ爲シタル者カ債務ノ履行ヲ爲サ、ルトキハ擔保ヲ以テ之ニ充テ過剩額  
ルトキハ之ヲ返付シ不足ヲ生シタルトキハ之ヲ追納セシム

第二條 前條ニ依リ元金ノ償還又ハ利子ノ仕拂ヲ請求セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シ  
及署名シタル額面ヲ取扱會社ニ提出シ承認ヲ受クヘシ

- 一、證券ノ額面金額
- 二、證券及利札ノ枚數
- 三、證券又ハ利札ノ記番號
- 四、仕拂ヲ受クヘキ元金額又ハ利子金額



- 五、元金償還期又ハ利子仕拂期
- 六、滅失又ハ紛失ノ事由場所及年月日
- 七、提供スヘキ擔保ノ種類及數量又ハ保證人ノ住所氏名
- 八、請求ノ年月日
- 九、請求者ノ住所

第三條 前條ニ依リ取扱會社ノ承認ヲ得タル者ハ契約證書ヲ作り之ヲ取扱會社ニ提出シ同時ニ之ニ對スル擔保ヲ提供スヘシ但保證人ヲ立テ擔保ノ提供ニ代フル場合ニ於テハ契約證書ニ保證人ノ連署ヲ要ス

擔保ハ現金又ハ取扱會社ノ確實ト認メタル有價證券トス  
擔保額ハ償還ヲ受クヘキ元金又ハ仕拂ヲ受クヘキ利子ノ金額ニ其仕拂フヘキ日ヨリ元金又ハ利子ノ消滅時効完成ノ日ニ至ル迄ノ日數ニ應スル一箇年百分ノ五ノ利子金額ヲ加ヘタルモノヲ以テ最下限トス

第四條 擔保物ノ價格ハ取扱會社ノ認定ニ依ル

擔保物ノ價格減少シタルトキハ取扱會社ノ指定シタル期日內ニ増擔保ヲ提出スルコトヲ要ス但取扱會社ノ承認ヲ經テ代保證人ヲ立ツルコトヲ妨ケス

第五條 擔保ヲ提供シタル者カ其擔保物ヲ變更セントスルトキハ新ニ提供スヘキ擔保ノ種類及數量ヲ記載シ年月日住所氏名ヲ署シタル書面ヲ以テ之ヲ取扱會社ニ請求スヘシ

第六條 擔保ヲ提供シタル者ハ擔保ノ原因カ一部消滅シタル場合其限度ニ應シ擔保ノ一部解除ヲ取扱會社ニ請求スルコトヲ得

第七條 擔保ノ提供ニ代フルコトヲ得ヘキ保證人ノ債務ハ主タル債務者ト連帶トス

第八條 保證人カ死亡シタルトキハ債務者ニ於テ速ニ代保證人ヲ立テ之ヲ取扱會社ニ請求シ其承認ヲ受クヘシ

保證人ノ變更ヲ要スルトキ亦同シ

第九條 債務者ハ保證人ノ資産ノ減損ニ因リ會社ヨリ更ニ擔保ヲ提供スヘキコトヲ求めラレタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス但取扱會社ノ承認ヲ經テ代保證人ヲ立ツルコトヲ妨ケス

第十條 滅失又ハ紛失シタル證券若クハ利札ニ對スル元金又ハ利子ハ領收證書ト引替ニ之ヲ仕拂フ

第十一條 取扱會社ニ於テ前條ノ仕拂ヲ爲シタルトキハ速ニ其契約謄本ヲ市長ニ回送スヘシ



### 名古屋市小學校建築公債條例

明治四十三年十一月二十五日條例第十號

#### 第一章 總 則

- 第一條 本公債ニ因ル收入ハ小學校建築費ニ充ツ
- 第二條 本公債ハ券面金額八拾七萬圓以內(實收額八拾七萬圓)トス
- 第三條 本公債ノ利息ハ年率六厘以內トシ募集ノ際之ヲ定ム
- 第四條 本條例ノ施行ニ關スル事項ハ市長之ヲ定ム

#### 第二章 募 集

- 第五條 本公債ノ募集期限ハ明治四十四年六月三十日迄トス  
但時宜ニヨリ市長ニ於テ募集期限ヲ延長スルコトヲ得
- 第六條 本公債發行ノ價格ハ券面金額以上トス
- 第七條 本公債ヲ募集スルトキハ其旨ヲ公告シテ應募者ヲ求メ申込價格ノ高キモノヨリ之ヲ募入ス但價格同等ノモノハ申込金額ニ比例シテ募入金額ヲ定ム  
前項ノ方法ニ依ラス公共團體又ハ銀行其他ノ者ヲシテ本公債ノ全部若クハ一部ヲ引受ケシムルコトヲ得
- 第八條 本公債ノ應募者ニハ申込ノ際保證金ヲ納付セシム  
但保證金ニ對シテハ利息ヲ付セス



保證金ハ元金拂込ノ際之ヲ元金ニ算入シ第十條第二項ノ場合ニハ之ヲ還付セス  
公共團體若クハ銀行ヲシテ公債ノ全部又ハ一部ヲ引受ケシメタルトキハ保證金ヲ徵收  
セサルコトヲ得

第九條 保證金ハ券面金額ノ百分ノ二以上トシ募集ノ際之ヲ定ム

第十條 本公債ノ元金拂込ヲ怠リタルモノハ券面金額百圓ニ付一日金參錢ノ遲滯利息ヲ  
仕拂フコトヲ要ス

應募者ニ屬スル權利ハ元金拂込期日ヨリ三十日ヲ經過スルニ因リテ消滅ス  
應募者拂込未濟ニシテ死亡シタルトキハ其引受人ニ於テ引受ノ旨ヲ届出ツヘシ

第三章 辨 濟

第十一條 本公債ノ元金及利息ハ市稅ヲ以テ之ヲ辨濟ス但其他ノ收入ヲ以テ辨濟スルコ  
トヲ妨ケス

第十二條 本公債ノ利息ハ毎年三月及九月ノ二期ニ分チ之ヲ仕拂フ

本公債募入ノ初期ニ於ケル一期未滿ノ利息ハ日割ヲ以テ之ヲ計算ス

第十四條但書ニ依リテ元金ヲ辨濟スル場合ハ同時ニ其元金ニ對スル利息ヲ仕拂フ

第十三條 第十五條ニ依リテ當籤又ハ辨濟ノ旨ヲ公告シタル公債ノ元金ニ對シテハ辨濟  
スヘキ期日以後ノ利息ヲ付セス

第十四條 本公債ノ元金ハ明治四十八年度ヨリ全六十二年度ニ至ル期間内ニ於テ其辨濟

額ヲ定メ毎年三月抽籤ノ方法ヲ以テ之ヲ償還ス

但市財政ノ都合又ハ低利ナル内債若クハ外債ニ由リ据置若クハ辨濟期間中ト雖トモ  
隨時之レカ償還スルコトヲ得

第十五條 當籤シタル公債證書ノ種類記號及番號ハ之ヲ公告ス

前條但書ニ依リ償還セムトスルトキハ三十日前其期日ヲ公告ス

第十六條 本公債ノ利息請求ノ權利ハ仕拂期日以後滿五箇年間元金請求ノ權利ハ辨濟期  
日以後滿十箇年間行使セサルニ因リテ消滅ス

第四章 證 書

第十七條 本公債證書ノ様式ハ無記名利札付トシ五拾圓、百圓、五百圓、千圓及五千圓  
ノ五種トス

但應募者又ハ所有者ノ請求ニ依リ記名トスルコトヲ得

第十八條 記名證書ノ賣買讓渡ヲナシタル者ハ双方連署ノ請求書ニ證書ヲ添ヘ記名換ヲ  
請求スヘシ

第十九條 記名證書ヲ相續シタルトキハ其相續人ハ請求書ニ戶籍謄本ヲ添ヘ記名換ノ請  
求ヲナスヘシ

但隱居若クハ女戶主ノ入夫婚姻ニ依リ相續シタルトキハ本文請求書ニ前戶主ノ連署  
ヲ要ス



第二十條 記名證書所有者ノ遺言ニ依リ相續ニアラスシテ證書ヲ讓受ケタルトキハ其相續人ヲ以テ保證人トナシ記名換ノ請求ヲナスヘシ但相續人ナキ場合ニ於テハ前所有者ノ親族二名以上ノ保證人ヲ要ス

第二十一條 本公債證書ハ全額拂込ノ際之ヲ交付ス

第二十二條 本公債ノ所有者ハ其證書ノ紛失又ハ滅失ノ場合ニ其種類記號及番號ヲ附記シテ新證書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得但辨濟期日ノ確定シタル證書ハ此限ニアラス

前項但書ハ元金辨濟ノ請求ヲ妨ケス

前二項ニ依リ新證書ノ交付又ハ元金ノ辨濟ヲ請求セムトスルモノハ市長ノ適當ト認メタル保證人二名以上ノ連署ヲ以テ該證書ニ對シ除權判決アリタル證明ヲナスヲ要ス前項ノ保證人ハ除權判決ノ取消アリタル場合ニ本人ト連帶シテ其損害ヲ賠償スヘキ義務ヲ負フ

但公共團體ノ請求ニ係ルモノ若クハ市參事會ニ於テ特ニ必要ナシト認ムルモノハ保證人ヲ要セス

第二十三條 本公債ノ所有者ハ證書ノ汚損其他正當ノ事由アル場合ニ其種類、記號及番號ヲ附記シテ新舊證書ノ交換ヲ請求スルコトヲ得

第二十四條 記名證書ニ變更ヲ受クルトキ記名證書ノ記名換ヲ受クルトキ及前二條ニ依リ證書ノ交付若クハ交換ヲ請求スルトキハ手数料トシテ證書一通ニ付金貳拾錢ヲ徴收ス

ス

第二十五條 本公債證書ハ元金拂渡ノ際之ヲ回收ス

第二十六條 第二十二條、第二十三條及前條ハ本公債利札及保證金領收證書ニ對シテ之ヲ準用ス

第二十七條 本公債證書元金拂渡ノ際現存スヘキ利札ノ枚數ニ不足アルトキハ之ニ相當スル金額ヲ拂渡金額ヨリ控除ス

前項ニ依リ控除シタル金額ハ該利札ノ持參人又ハ該利札ニ對スル除權判決ノ申立人ニ仕拂フ

前項ノ申立人ニ仕拂フ場合ハ第二十二條第三項及第五項ヲ準用ス

參考

一明治四十四年一月十四日五分四厘利附教育公債八十七萬圓（百圓券四十枚、五百圓券八十八枚、千圓券八百二十二枚）發行セリ

一利札金ハ四月一日ヨリ九月三十日迄分テ九月渡、十月一日ヨリ三月三十一日迄テ三月渡トス



### 名古屋市共葬墓地特別會計規則

明治三十三年度  
第十六號 議決

- 第一條 本市共葬墓地新設經營ノ爲メ特別會計ヲ設置ス
- 第二條 共葬墓地特別會計ハ墓地使用料其他一切ノ收入ヲ歲入トシ地所購買建物新築及墓地ニ關スル設備維持其他一切ノ費用ヲ歲出トス
- 第三條 本市共葬墓地特別會計ニ屬スル收入金ニ不足ヲ生スルトキハ借入金ヲ以テ之ヲ補ヒ剩餘ヲ生スルトキハ該維持費或ハ擴張費ニ充用スルモノトス
- 第四條 市參事會ハ毎年度共葬墓地特別會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト俱ニ市會ニ提出スヘシ
- 第五條 市參事會ハ共葬墓地特別會計ニ於ケル決算ヲ毎年度歲入歲出ノ總決算ト俱ニ市會ノ認定ニ付スヘシ



### 名古屋市金庫規則

明治四十五年三月三十日  
告示第四十一號

第一條 本市現金ノ出納及保管ノ爲メ名古屋市金庫ヲ置ク

第二條 名古屋市金庫ノ位置ハ市長之ヲ定ム

名古屋市金庫ハ市役所區役所其他市長ニ於テ必要ト認ムル場所ニ派出所ヲ設置スヘシ

第三條 市金庫事務取扱銀行ハ別ニ之ヲ定ム

市金庫事務取扱期限ハ三ケ年トシ其契約ハ市參事會ノ決議ヲ經テ締結ス

第四條 市金庫事務取扱ヲ爲ス銀行ハ市長ノ許可ヲ經自己ノ責任ヲ以テ他ノ銀行又ハ其

他ノ者ヲシテ其金庫事務ノ一部ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第五條 市金庫事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ハ當時保管金高以上ノ擔保品ヲ提出スヘシ

擔保品ハ左ノ有價證券ニ限ルモノトス

一、國債證券

一、地方債證券

一、政府ノ監理官ヲ置ケル銀行會社ノ株式及債券

前項有價證券ノ價格算定ハ時價百分ノ九十以內トス

第六條 市金庫ノ現金ハ市費ニ屬スルモノニシテ支拂ニ差支ナキ限度ニ於テ其運用ヲ許ス



前項運用金ニ對シ市ニ納付スル利子ハ契約ノ定ムル所ニ依ル

第七條 市金庫事務取扱ニ關スル一切ノ費用トシテ手當金ヲ取扱銀行ニ交付ス其額ハ契約ノ定ムル所ニ依ル

第八條 市金庫ニ於テ備フヘキ帳簿ノ種類出納ノ順序等ニ關スル規定ハ市長之ヲ定ム

附 則

第九條 本則ハ明治四十五年四月一日ヨツ施行ス

名古屋市税金取扱所設置方法ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス

### 市金庫位置

明治四十五年三月三十日  
告示 第五十號

名古屋市金庫ノ位置ヲ左ノ通相定ム

名 稱

位 置

名古屋市金庫

名古屋市役所内



### 市金庫派出所

改正

明治四十五年三月三十日 告示第五十一號  
 大正二年十月十六日 大正四年五月十一日 大正五年十一月二十日  
 告示第四百十號 告示第五十七號 告示第九十九號  
 大正六年四月十四日 大正六年四月二十四日  
 告示第六十六號 告示第六十八號

名古屋市金庫ノ派出所ヲ左ノ場所ニ設置シ明治四十五年四月一日ヨリ市稅國稅縣稅ノ收納事務ヲ取扱ハシム  
 但納期日ノ經過シタルモノ及毎月二十八日以後ハ此限ニアラス

名 稱	設 置	場 所
名古屋市金庫第一派出所	西區傳馬町	名古屋銀行
全 第二派出所	全	明治銀行
全 第三派出所	全 玉屋町	愛知銀行
全 第四派出所	中區門前町	名古屋銀行南支店
全 第五派出所	全	明治銀行南支店
全 第六派出所	全 古渡町	愛知銀行古渡支店
全 第七派出所	西區東柳町	明治銀行西出張店
全 第八派出所	全 舟入町	名古屋銀行堀川支店
全 第九派出所	東區東田町	明治銀行東出張店



名古屋市金庫第十派出所	中區奧田町	名古屋銀行東出張店
全 第十一派出所	東區宮町	愛知銀行宮町支店
全 第十二派出所	中區榮町	名古屋銀行榮町支店
全 第十三派出所	西區江川町	全 巾下支店
全 第十四派出所	南區熱田神戶町	明治銀行熱田支店
全 第十五派出所	全 新尾頭町	全 尾頭出張店
全 第十六派出所	東區鍋屋町	全 鍋屋町出張店
全 第十七派出所	南區熱田旗屋町	愛知銀行熱田支店
全 第十八派出所	西區傳馬町	全 傳馬町支店
全 第十九派出所	西區堀詰町	全 幅下支店
全 第二十派出所	中區門前町	全 門前町支店
全 第二十一派出所	南區熱田傳馬町	名古屋銀行熱田支店
全 第一派出所熱田市場町支所	南區熱田市場町	愛知農商銀行
全 第二十二派出所	西區隅田町	明治銀行巾下支店
全 第二十三派出所	東區赤塚町	名古屋銀行赤塚支店
全 第二十四派出所	東區中市場町	全 中市場支店
全 第二十五派出所	西區西柳町	愛知銀行柳橋支店

### 市金庫事務取扱手續

明治四十五年三月三十日  
告示第四十二號  
大正五年四月五日  
達第十九號ヲ以テ改正

名古屋市金庫事務取扱手續左ノ通相定メ明治四十五年四月一日ヨリ施行ス

#### 市金庫事務取扱手續

##### 總 則

第一條 市金庫ノ事務ハ市町村財務規程及市ノ會計ニ關スル規定ニ從ヒ此手續ニ依リ處理スヘシ

第二條 市金庫ニ於テ出納スル現金ハ左ノ區分ニ依リ整理スヘシ但歲入出ハ各經濟別年度別ニ整理スルモノトス

一、歲 入 出

二、國 稅

三、縣 稅

四、市役所雜部金

五、區役所雜部金

第三條 市金庫ノ出納ハ市役所及區役所ノ執務時間ニ依ルヘシ但終時ニ限リ一時間前トス正午退廳日ハ此限ニアラス

至急ノ仕拂ヲ要スルトキ又ハ領收金ノ輻輳スルトキハ時間外若クハ休暇日ト雖モ執務



スヘシ  
第四條 市金庫ハ照較ニ供スル爲メ市收入役區收入役ニ印鑑並ニ事務取扱者ノ氏名印鑑ヲ差出スヘシ市金庫ニ於テ出納上照較ニ供スル印鑑ハ市收入役區收入役ヨリ直チニ送付ヲ受クルモノトス

收 入

第五條 市金庫ニ於テ納人ヨリ徵稅令書納額告知書納付書ニ添ヘ現金若クハ金券ノ拂込ヲ受ケタルトキハ指定ノ證印ヲ捺シ領收證書ヲ納人ニ交付スベシ

第六條 市金庫ハ拂込ヲ受ケタル徵稅令者納額告知書納付書ヲ即日當該收入役ニ送付スヘシ

第七條 市金庫ハ收入役ヨリ官公署ニ於テ受領スヘキ受入金ノ通知ヲ受ケタルトキハ速ニ領收ノ上領收濟通知書ヲ收入役ニ送付スヘシ

第八條 市金庫ハ毎日ノ受入金ヲ各經濟ニ區分シ市役所ノ取扱ニ係ルモノハ市收入役ニ區役所ノ取扱ニ係ルモノハ市收入役及當該區收入役ニ即日報告スヘシ

前項受入報告書ハ第六條第七條第九條ニ依リ收入役へ送付スヘキ証憑書ト共ニ提出スヘシ

仕 拂

第九條 市金庫ニ於テ仕拂案内ヲ受ケタルトキハ直チニ仕拂準備ヲ爲スヘシ

仕拂切符持參人ニ現金ヲ交付セムトスルトキハ前項仕拂案内ト照較調査シ正當ト認めキル後現金ヲ交付シ其仕拂切符及仕拂案内ニ仕拂月日ヲ記入シ置クヘシ但收入役ノ通知ニヨリ引去ルヘキ金額アルトキハ之ヲ控除シタル殘額ヲ交付スヘシ

前項但書ニ依リ控除シタル引去金ハ引去金通知書ニ記載シタル歲入若クハ雜部金ニ編入シ引去金受入通知書ヲ調製シ當該收入役ニ送付スヘシ

第十條 市金庫ハ市收入役ヨリ區役所ニ於テ仕拂フヘキ仕拂案内ヲ受ケタルトキハ速ニ指定ノ場所ニ於テ仕拂準備ヲ爲シ仕拂濟ノ上ハ第十一條ノ手續ヲナスヘシ

第十一條 市金庫ハ毎日ノ仕拂金ヲ市收入役發行ノ仕拂切符ニ對スルモノハ市收入役區收入役發行ノ仕拂切符ニ對スルモノハ其區收入役及市收入役ニ即日報告スヘシ

前項市收入役ニ提出スル仕拂金報告書ニハ仕拂濟仕拂切符(區收入役發行ノ分共)ヲ添付スルモノトス

第十二條 市金庫ハ毎月末日現在ニ依リ仕拂案内ニ對シ現金仕拂ノ請求ナキモノ、氏名金額仕拂案内番號ヲ第二條ノ整理科目別ニ記載シタル現金仕拂未濟書ヲ調製シ翌月三日迄ニ仕拂案内ヲ爲シタル收入役ニ差出スヘシ

第十三條 市金庫ニ於テ收入役ヨリ仕拂案内ノ取消通知ヲ受ケタルトキハ速ニ其旨仕拂案内ニ附記シ收入役ニ返付スヘシ

帳 簿 計 算



第十四條 市金庫ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ其出納ヲ登記スヘシ  
歳入出ニ屬スルモノ

一 現金出納簿

一 現金受入簿

一 現金支拂簿

一 仕拂案内額差引簿

歳入出外ノモノ

一 現金受拂簿

一 仕拂案内額差引簿

第十五條 現金出納簿ハ各經濟毎ニ口座ヲ設ケ受入票仕拂票振替票等ノ書類ニヨリ毎日其收支ヲ登記スヘシ

第十六條 現金受入簿ハ各經濟毎ニ口座ヲ設ケ(又ハ別冊トシ)徵稅令書納額告知書納付書又ハ現金拂込書等ニヨリ其日ノ收入ヲ明細ニ登記スヘシ

第十七條 現金仕拂簿ハ各經濟毎ニ口座ヲ設ケ(又ハ別冊トシ)仕拂切符ニヨリ其日ノ仕拂ヲ明細ニ登記スヘシ

第十八條 仕拂案内額差引簿ハ經濟毎ニ市及各區別ニ口座ヲ設ケ仕拂案内額ニ對シ仕拂濟額ヲ登記シ案内未仕拂額ヲ顯スヘシ

第十九條 現金受拂簿ハ市及各區別ニ口座ヲ設ケ(又ハ別冊トシ)證憑書類ニヨリ毎日其受拂ヲ登記スヘシ

第二十條 派出所ニ於テハ現金受入簿、現金仕拂簿、現金受拂簿ヲ備ヘ第十六條第十七條第十九條ノ例ニ依リ其出納ヲ登記スヘシ

第二十一條 歳入還付ノ仕拂ヲ爲シタルトキ又ハ更正減額ヲナストキハ朱書シ次葉繰越又ハ決算ノ場合ハ受入合計ヨリ控除スヘシ

第二十二條 歳出金戻入ノ納付アリシトキハ朱書シ次葉繰越又ハ決算ノ場合ハ仕拂合計ヨリ控除スヘシ

第二十三條 各經濟相互ニ收支ノ振替通知書ヲ受ケタルトキハ速ニ關係帳簿ニ登記スヘシ

第二十四條 市金庫ハ現金出納簿及現金受拂簿ニ依リ殘高表ヲ毎日調製シ翌日午前十一時迄ニ之ヲ市收入役ニ差出スヘシ

第二十五條 市金庫ハ歳入出ニ屬スル出納總計ヲ各經濟ニ區分シ總收入支出金高表ヲ調製シ出納閉鎖後七日以内ニ收入役ニ差出スヘシ

歳入出外現金ノ總受拂ハ毎年三月末日現在ニ依リ前十二月分ヲ各種目ニ區分シ歳入出外現金受拂表ヲ調製シ四月七日迄ニ收入役ヘ差出スヘシ

歳入出殘金ヲ翌年度歳入出ヘ繰入ノ通知アリタルトキハ速ニ振替ヲ爲スヘシ



樣式

- 第一號 受拂金報告
- 第二號 仕拂金報告
- 第三號 引去金受入通知書
- 第四號 仕拂未濟書
- 第五號 現金出納簿
- 第六號 現金受入簿
- 第七號 現金仕拂簿
- 第八號 仕拂案内額差引簿
- 第九號 現金受拂簿(歳入出外現金ノモノ)
- 第十號 現金出納簿殘高表
- 第十一號 現金受拂簿殘高表
- 第十二號 歳入出ニ屬スル收支總計表
- 第十三號 歳入出外現金受拂總計表
- 第十四號 受入金通知

受 入 金 票			受 入 金 報 告		
年	月	日	年	月	日
經 濟 別	金 額	額	經 濟 別	金 額	額
何 年 度 歳 入			何 年 度 歳 入		
公 債 費 何 年 度 歳 入			公 債 費 何 年 度 歳 入		
上 水 道 何 年 度 歳 入			上 水 道 何 年 度 歳 入		
下 水 道 何 年 度 歳 入			下 水 道 何 年 度 歳 入		
共 葬 墓 地 何 年 度 歳 入			共 葬 墓 地 何 年 度 歳 入		
教 育 公 債 何 年 度 歳 入			教 育 公 債 何 年 度 歳 入		
雜 部 金			雜 部 金		
何 々			何 々		
計			計		
本日受入金上記ノ通 名古屋市中區市役所派出所			本日受入金上記ノ通ニ候也 名古屋市中區市役所派出所 名古屋市中區市收入役		

(第一號甲) 整五寸 横三寸五分 二枚ノモノ接續 罫黒色



○ 受 入 金 票 日 額		○ 受 入 金 報 告 日 額		○ 受 入 金 報 告 日 額	
年 月	金 額	年 月	金 額	年 月	金 額
何 年 度 歲 入		何 年 度 歲 入		何 年 度 歲 入	
國 稅		國 稅		國 稅	
縣 稅		縣 稅		縣 稅	
雜 部 金		雜 部 金		雜 部 金	
何 年 度 歲 出 展 入		何 年 度 歲 出 展 入		何 年 度 歲 出 展 入	
計		計		計	
本日受入金上記ノ通ニ候也 名古屋市金庫何區派出所印		本日受入金上記ノ通ニ候也 名古屋市金庫何區派出所印 名古屋市收入役殿		本日受入金上記ノ通ニ候也 名古屋市金庫何區派出所印 名古屋市何區收入役殿	

(第一號乙) 竪五寸 横三寸五分 洋紙ノモノ三枚續キ

○ 仕 拂 金 月 票 日 額		○ 仕 拂 金 報 告 日 額	
年 月	金 額	年 月	金 額
何 年 度 歲 出		何 年 度 歲 出	
公 債 費 何 年 度 歲 出		公 債 費 何 年 度 歲 出	
上 水 道 何 年 度 歲 出		上 水 道 何 年 度 歲 出	
下 水 道 何 年 度 歲 出		下 水 道 何 年 度 歲 出	
教 育 公 債 何 年 度 歲 出		教 育 公 債 何 年 度 歲 出	
雜 部 金		雜 部 金	
何		何	
計		計	
本日仕拂金上記ノ通 名古屋市金庫市役所派出所印		本日仕拂金上記ノ通候也 名古屋市金庫市役所派出所印 名古屋市收入役殿	

(第二號甲) 竪五寸 横三寸五分 ノモノ二枚接續 野赤



(第三號乙) 縦五寸 横三寸五分 ノモノ參枚接續 罫赤

○ 告 告		○ 報 報		○ 報 報		○ 告 告	
日 額		月 額		年 額		日 額	
何 年 度 歳 出		何 年 度 歳 出		何 年 度 歳 出		何 年 度 歳 出	
國	縣	國	縣	國	縣	國	縣
雜 部 金	稅	雜 部 金	稅	雜 部 金	稅	雜 部 金	稅
何 年 度 歳 入 還 付		何 年 度 歳 入 還 付		何 年 度 歳 入 還 付		何 年 度 歳 入 還 付	
計		計		計		計	
本日 任拂金上記ノ通ニ候也 名古屋市金庫何區派出所		本日 任拂金上記ノ通ニ候也 名古屋市金庫何區派出所		本日 任拂金上記ノ通ニ候也 名古屋市金庫何區派出所		本日 任拂金上記ノ通ニ候也 名古屋市金庫何區派出所	
名古屋市何區收入役殿		名古屋市收入役殿		名古屋市收入役殿		名古屋市收入役殿	

(第三號) 全紙面七寸ニ六寸 輪廓 縦四寸五分 ノモノ二個

引去金受入通知書	
受入科目	但某年度歳入(雜部金) (何々)
何々引去金	但某年度歳出支拂切符第號某渡金何程ノ内ヨリ
右本日受入タリ	
年 月 日	市 金 庫
收入役宛	

一 金 何 程	
但某年度歳出仕拂切符第號某渡金何程ノ内教員	恩給基金引去リ雜部金ノ受入ヲ要ス
(雜部金支拂切符第號某渡金何程ノ内契約ニ	ヨリ違約金引去リ某年度歳入ノ受入ヲ要ス)
右 通 知	年 月 日
市 金 庫 宛	收 入 役
引去金通知書	







上水道布設費何年度歳入出				
年月日	摘要	受	拂	残
0	市本日受	円 0	円	円 0
0	市本日拂		0	
0	何月何日下水道拂ノ内 本項金額上水ノ誤ナリ シニ付更正増拂		0	0

下水道布設費何年度歳入出				
年月日	摘要	受	拂	残
	市本日受	円 0	円	円 0
	市本日拂		0	
	何日拂ノ内上水道拂ノ 誤ナリシニ付更正戻入	0		0



(第五號)

現金出納簿

名古屋市金庫

		總括		
年月日	摘要	受	拂	殘
		円	円	円
0	市本日受	0		
0	市本日拂		0	
0	西區本日受	0		
0	中區全	0		
0	南區全	4		
0	東區本日拂		0	
0	東區本日拂	0		
0	何月何日中區議入受ノ 内縣稅ノ誤ニ付更正減		0	0

何年度歳入出

年月日	摘要	受	拂	殘
		円	円	円
0	市本日受	0		
0	市本日拂		0	
0	西區本日受	0		
0	中區本日受	0		
0	東區本日受	0		
0	南區本日受	0		
0	東區本日拂		0	0
0	(朱書) 何月何日中區受入ノ内 縣稅ノ誤ニ付更正減		0	0



年月日	何々		
	摘要	受入	累計
		円	円

(第六號)

現金受入簿

名古屋市金庫

(名古屋市金庫何派出所)

年月日	何々		
	摘要	仕拂	累計
		円	円

(第七號)

現金仕拂簿

名古屋市金庫

(名古屋市金庫何派出所)







(第十一號) 第十二類財 務 全紙面 豎四寸五分橫五寸五分

現金受拂簿殘高表

年 月 日

所 種 別	國 稅		縣 稅		雜 部 金		計
	円	円	円	円	円	円	円
市 役 所							
東 區 役 所							
西 區 役 所							
中 區 役 所							
南 區 役 所							
計							

本日殘高上記ノ通ニ候也  
 名古屋市金庫 印  
 名古屋市收入役殿

(第十號) 第十二類財 務 全紙面 豎四寸五分橫五寸五分

現金出納簿殘高表

年 月 日

經 濟 別	金 額	
	円	
何 年 度 歳 入 出		
公 債 費 何 年 度 歳 入 出		
上 水 道 何 年 度 歳 入 出		
下 水 道 何 年 度 歳 入 出		
教 育 公 債 何 年 度 歳 入 出		
何 々		
計		

本日殘高上記ノ通ニ候也  
 名古屋市金庫 印  
 名古屋市收入役殿



自 年 月 日  
至 年 月 日  
歳入出外現金受拂總計表

種 目	受	拂	残
	円	円	円
國 稅			
縣 稅			
雜 部			
計			

上記ノ通ニ候也

年 月 日

名古屋市金庫 印

名古屋市収入役殿

歳入出ニ屬スル收支總計表

經 濟 別	收 入	仕 拂	残
	円	円	円
何 年 度 歳 入 出			
公 債 費 何 年 度 歳 入 出			
上 水 道 何 年 度 歳 入 出			
下 水 道 何 年 度 歳 入 出			
教 育 公 債 何 年 度 歳 入 出			
計			

上記ノ通ニ候也

年 月 日

名古屋市金庫 印

名古屋市収入役殿